

小学生が「自然の美しさ」「神秘さ」「生命の大切さ」を学習

～ 国営備北丘陵公園で自然観察会とフジバカマの植樹を実施します～

概要

国営備北丘陵公園では小学生の総合的な学習として「自然観察会」を開催します。

今年度は、庄原市立東小学校の3年生23名と庄原市立高小学校の4年生9名の皆さんが参加し、第1回目の観察会を開催します。

自然観察会は、自然の美しさ、神秘さに触れ、生命の大切さを学ぶことの出来るプログラムとなっています（詳細は別紙参照）。

観察会では、植物や生物に関する専門の講師が理解し易く説明し、生徒の皆さんから観察会を通じて学んだ事、気付いた事などについて発表してもらいます。

今回の観察会は、国営備北丘陵公園内に再び渡蝶「アサギマダラ」がやってくることを期待して、成虫の食草である**フジバカマ**を児童自らが植樹します。



【観察会の様子】



【フジバカマ】

【日時】

平成24年6月25日(月) 雨天決行

13:50 観察会開始

14:30頃 フジバカマ植樹

【参加小学校】

庄原市立東小学校(3年生23名) 庄原市立高小学校(4年生9名)

お問い合わせ

国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所

副所長(公園担当) 大池 勝則(おおいけ かつのり)

【担当】公園課長 山内 和則(やまうち かずのり)

TEL 0824-72-5000 FAX 0824-72-7532 (国営備北丘陵公園分室)

【広報担当】建設専門官 中井 喜美男(なかい きみお)

TEL 0824-63-4121 FAX 0824-64-2240 (代表)

第 1 回自然観察会 詳細スケジュール

日時 2012 年 6 月 25 日 (月)

13 : 50 ~ 13 : 55 参集殿にて

- ◇ 先生の紹介
- ◇ スケジュールと注意事項

13 : 55 ~ 14 : 20

- (1) ビオトープとは何か
- (2) 「なぜ? という心を持ち続け生き物から学ぶ」
- (3) 「フジバカマ」
- (4) 「国内の樹木」
- (5) 「昆虫とは何か」
- (6) 「アサギマダラという渡りチョウについて」

14 : 30 ~ 15 : 10 現地にて

- (7) **フジバカマ植樹**
- (8) ビオトープ現地観察

← **撮影ポイント**

15 : 20 ~ 15 : 40 参集殿にて

- (9) 『気づきや今日調べたこと学んだことの発表』
・ 何人かの生徒が発表



【渡蝶「アサギマダラ」について】

観察会では、日本本土から南西諸島、さらには台湾までの大規模な移動（渡り）を行う蝶として知られるアサギマダラについて学習を行います。

アサギマダラは夏から秋にかけて日本本土を南下し、繁殖した子孫が春に北上する渡蝶で、成虫の羽に放蝶者の名前や連絡先などを記入（マーキング）し固体識別を行うことによって行動経路が解明されています。

平成 20 年 11 月には、国営備北丘陵公園内で長野県でマーキングされたアサギマダラが発見され、中国山地沿いでは初となる飛行ルートの確認を行うことができました。



【アサギマダラ】

会場図



集合場所 (参集殿)

自然観察会会場

フジバカマ植樹場所



国営備北丘陵公園全園図